



↑2月21日（日）の報告会の様子

2月21日（日）、地域スモールビジネス研究会が主催する「ミライの職業訓練校 受講生成果報告会」が、とよた市民活動センターで開催されました。

ミライの職業訓練校は、27年度の豊田市事業『新☆豊田市誕生10周年プロジェクト市民発！まちづくりシン展事業』として採択され、農山村で生きるために必要な技を学び、同時にクリエイティブな技能を身につけるモデル的職業訓練を試行する為に、「山里への移住を支援すること」「受講者のつながりの中で新しい働き方を作っていくこと」の2つを目的として、座学等の基礎コース、地域の師匠ヘインターンして学ぶ実践コースを設定し、農山村への移住希望者等20名を対象に学びの場を提供してきました。

8月から10月に全6回行われた基礎コースでは、山里に移住した先輩たちの暮らし方を「住み開き」を通して学び、生き方、働き方、



↑実践コースの様子



↑基礎コースの様子

ミライの職業訓練校 受講生成果発表会 仲間と共に「モヤモヤ」を進化



まちなか
MACHINAKA

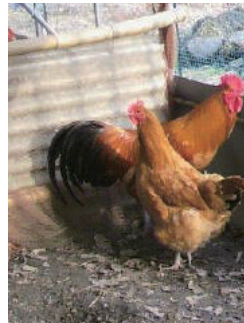
子育てを見て、体験して、お互いの考え方をシェアしながら暮らしのあり方を考えました。11月から1月に全4回行われた実践コースでは、参加者が大切にしたい生き方を実践するために必要なナリワイを、仲間と共に師匠を呼んで学び、ヘインターンしながら生きる糧を身に付けました。

とよた山里暮らし通信員 おいでん・さんそんず レポート

vol. 4

ニワトリのいる生活

あたし、ニワトリのニワ子と申します。てくてく農園在住、夢見のおてんば娘でございます。庭にいる鳥。だからニワトリらしいわ。最近では庭にいるのは珍しくなったみたい。ちょっと前まで家々に家畜がいることは普通で、あたしたちも人間と共に生きてきたわ。人間の残飯とかそこの草も、あたしたちにとっては最高のエサ。



それでたまご産めるし、おまけに鶏糞は田畑に使えるのよ。格好よくいえば循環型農業とか、エコっていうのかしら。あたし自身はそんなことには興味がなく、今日もたまごを産むのに一所懸命。あ、横江氏がエサを持ってきたわ。本日の材料はなにかしら。人間の庭にいる暮らし、ニワ子にとっても、ケッコー快適よ！

レポーター



横江克也さん
旭地区在住

有機農業を中心とした「自給自足な暮らしがしたい」と、結婚と同時に夫婦で移住。豊田市の空き家情報バンクを利用し、2011年3月から旭地区での暮らしをスタートさせる。移住後に「てくてく農園」を開業。楽しく暮らすために、生業として農家という職業を選んだ。2人にとっては自然な流れで、農家とは、暮らしそのものが生業だと感じている。

イベント情報

あすけ夢里まつり2016

豊田・足助に宿る一日だけの「夢の里」。春の小旅行もかねて、ぜひお越しください。

- 日時：4月24日（日） 10:00～16:00（雨天決行）
- 場所：豊田市足助町 三州足助屋敷前広場
- 内容：☆手づくり市：手作り雑貨・草木染物・お弁当・パン・地元職人による工芸品・もんぺ・キャンドルなど☆ワークショップ：香嵐溪の自然散策・木工ワークショップ・さをり織り・豊田産の木材で楽器を作ろう！建前ごっこ・よもぎもち作り（予定）など☆ファーマーズマーケット：地元農家の野菜・加工品・お米など☆もんぺファッションショー：个性的なおしゃれもんぺを着こなした人が大集合☆ステージ：多彩なアーティストが会場をにぎやかにしてくれます！今年は、参加型ワークショップや企画が盛りだくさん！ワークショップの事前申込情報など詳しくは

あすけ夢里まつりホームページ <http://yumesato.jimdo.com/>
Facebookページ <https://www.facebook.com/asukeyumesato>

- 主催：あすけ夢里まつり実行委員会
- 協力：おいでん・さんそんセンター
- 問合せ：夢里まつりホームページ <http://yumesato.jimdo.com>



足助春まつり

足助次郎重範公を祀る足助神社の春祭り。

- 日時：4月9日（土）14:00～17:00頃・10日（日）6:30～17:00頃
- 場所：足助八幡宮（あすけはちまんぐう）
- 内容：7つの町内から桜・藤・椿などで飾られた花車が出され、町中が鮮やかに彩られるのが魅力。花車には少女が乗り、お囃子の太鼓を鳴らし、歌を歌いながら町を練る、華やかな女の子のお祭りです。

試楽・・・9日 14:00～17:00頃
本楽・・・10日 6:30～17:00頃
詳しくは、足助観光協会公式ページを参照ください。

<http://asuke.info/event/apr/entry-163.html>

- 問合せ：足助観光協会
Tel:0565-62-1272



その他の情報は、センターHPをチェック！
<http://www.oiden-sanson.com/event/>

つながる社会

「ミライのフツ」を目指そう」をキャッチコピーにした新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発！まちづくりシン展事業最終報告会とともにフィナーレを迎えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わることができ、爽快感達成感と多くの学びを得ることができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越えた課題解決の取り組みを応援するシン展事業「ミライのフツ」☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行政の挑戦でもあった。

コンテストで採択された20事業は、多分野にわたり、豊かな未来社会を目指す秀逸なものばかり、共通する理念が、いずれも「つながる」ことにあつたと最近になって気づいた。大賞を受賞した「人と木をつなげるプロジェクト」は、その象徴的的事业と言える。木材の生産、流通、デザイン、加工、販売などに関わる地域内の異業種がこの事業でつながり、生産者から消費者までが顔の見える関係を築き、地産地消の経済循環を図りながら「人と木」すなわち人と森、自然をつなげる取り組みでもある。Hitotsumiブランドで完成させたスツール（椅子）は、全国公募のウッドデザイン賞で入賞の快挙も成し遂げた。

人と人、人と自然、都市と農村、地域と企業がつながる社会をデザインしサポーターするおいでん・さんそんセンターの取り組みに自信と確信を持つことができた。



センター長
鈴木辰吉

